教員養成に対する理念、設置の趣旨等
認定を受けている課程を有する学科等としての教員養成に対する理念、設置の趣旨等

●　人文社会学部人間社会学科（高一種免（公民）） 　本学科は、個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に生きることが出来る社会の形成者を養成すべく、人間科学に関する専門的な知識と豊かな学際的知、社会的弱者に配慮し、心豊かで、安心・安全に暮らせる社会を実現するための実践力の獲得を目標とした教育課程を編成している。 　本学科の教職課程は、上の教育課程の学修を通じて獲得したこれらの能力を活かしながら、上記のような社会の形成者として、特に学校教育領域でその役割を担い、次世代の子ども・若者をも、同様の能力を備えた、同様の社会の形成者へと育成していくことのできる教員養成をその理念としている。 　教員養成のそのような理念を実現するために、教職課程履修者が、「法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)」「社会学、経済学(国際経済を含む)」「哲学、倫理学、宗教学、心理学」の科目区分から各科目の履修を行った上で、高い専門性を身につける事を目指す。その上で生徒が自ら自分の考えを積極的に発言できるような、生徒が主体となる授業を実践できる教員を育てる。公民分野の学習(本学科の場合、特に社会学・哲学・倫理学・宗教学・心理学を中心に)を通して、人間科学に関する専門的な知識と豊かな学際的知を有する者、社会的弱者に配慮し、心豊かで、安心・安全に暮らせる社会を実現するための実践力を有する者としてその能力を発達させ、それらを教員としての力量獲得へとつなげていく。また、自主性・創造性を育成するという趣旨に基づいて教員養成を行う。このように、公民分野に関する専門性を基盤に、教員として必要な資質能力を身につけさせる。さらに、教職志望者としてその力を伸長させていくためには、教科教育だけでなく、深い見識が必要となる。そのために卒業論文の執筆・作成を重視する。以上を通じて、教育的愛情に溢れ、広い教養と教科に関する高度の専門的知識を備えた実践的指導力を即時的に発揮しうる教員を養成する。
●　人文社会学部琉球アジア文化学科（中一種免（国語）・高一種免（国語）） 本学科は、多様な社会との共生や、持続と発展が可能な社会の形成者を養成すべく、文学・言語（日本語学・日本文学・中国文学）に関する専門的知識と豊かな学際的知、多様な社会との共生のあり方や持続と発展のための政策提言・発信力、平和共生社会を構築する実践力の獲得を目標とした教育課程を編成している。3つの学資課程教育プログラムからかなる本学科では、言語学プログラム、文学プログラムの2つに教職課程（中学国語・高校国語）を設定している。 本学科の教職課程は、上の教育課程の学修を通じて言語学（日本語に加えて中国語学、琉球語学も履修可能）や文学（日本文学、中国文学、琉球文学、さらに朝鮮文学も履修可能）の諸講義を通して獲得したこれらの能力を活かしながら、上記のような社会の形成者として、特に学校教育領域でその役割を担い、次世代の子ども・若者をも、同様の能力を備えた、同様の社会の形成者へと育成していくことのできる教員養成をその理念としている。 本学科における中学校・高等学校国語の教員養成は、高度情報化、国際化した社会の要請にこたえるために、豊かな国際感覚と日本語の運用能力及び学問的分析・総合能力、自文化と異文化に対する理解を基盤とする高いコミュニケーション能力を有する人材育成を目指す。教員養成にあたっては、言語学プログラムの「日本語学」、文学プログラムの「日本文学」「中国文学」を必修の基盤としつつ、言語学の「琉球語学」「中国語学」、文学プログラムの「琉球文学」「朝鮮文学」などから幅広い履修を行なうことで、上記の目標を達成する。母胎である国際「自由平等・寛容平和」という建学の精神を継承・発展させて「真理の探求」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追及」という大学の基本理念の下、沖縄という歴史ならびに地理的・文化的特性を生かしながら、且つ、教員として必要な資質能力を身につけさせるとともに、教育的愛情に溢れ、広い教養と教科に関する高度の専門的知識を備えた実践的指導力を即時的に発揮しうる教員を養成することを理念としている。

● 国際地域創造学部国際地域創造学科（中一種免（社会））

本学科における中学校社会の教員養成は、複雑化した時代における地域文化の振興、地域経済・産業の振興という社会からの要請にこたえるために、自文化と異文化に対する理解を基盤とする学際的で高い専門性を有する人材育成を目指す。教員養成にあたっては、「日本史及び外国史」「地理学（地誌を含む。）」「法律学、政治学」「社会学、経済学」「哲学、倫理学、宗教学」の5つの科目区分から幅広い履修を行なった上で、プログラム独自の教職カリキュラム「アカデミックリテラシー」「応用演習Ⅰ」「応用演習Ⅱ」を開設し、高い専門性を踏まえつつ、生徒が自ら自分の考えを積極的に発言できるような、生徒が主体となる授業を実践できる教員を育てる。教職志望者として、その力を伸長させていくためには、深い見識が必要となる。そのために卒業論文の執筆・作成を重視する。社会科各分野の学習を通して地域社会に関する諸課題について関心を持ち、その解決を目指して思考を深め、創意工夫する力を育成するとともに、自主性・創造性を育成するという趣旨を設定し、人材育成を行う。このように、地理学・歴史学・文化諸科学または経済学に関する学問的専門性を基盤に、且つ、教員として必要な資質能力を身につけさせることで、教育的愛情に溢れ、広い教養と教科に関する高度の専門的知識や技能を備えた実践的指導力を発揮しうる教員を養成することを理念としている。

● 国際地域創造学部国際地域創造学科（高一種免（地理歴史））

本学科における高等学校地理歴史の教員養成は、グローバル化した時代における地域文化の振興という社会からの要請にこたえるために、国土と歴史に対する理解を基盤とする学際的で高い専門性を有する人材育成を目指す。教員養成にあたっては、「日本史」「外国史」「人文地理学及び自然地理学」「地誌」の4つの科目区分から幅広い履修を行った上で、プログラム独自の教職カリキュラム「アカデミックリテラシー」「応用演習Ⅰ」「応用演習Ⅱ」を開設し、高い専門性を踏まえつつ、生徒が自ら自分の考えを積極的に発言できるような、生徒が主体となる授業を実践できる教員を育てる。教職志望者として、その力を伸長させていくためには、教科教育だけでなく、深い見識が必要となる。そのために卒業論文の執筆・作成を重視する。地歴科各分野の学習を通して地域文化に関する諸課題について関心を持ち、その解決を目抱して思考を深め、創意工夫する力を育成するとともに、自主性・創造性を育成するという趣旨を設定し、人材育成を行う。このように、地理・歴史・文化に関する学問的専門性を基盤に、且つ、教員として必要な資質能力を身につけさせることで、教育的愛情に溢れ、広い教養と教科に関する高度の専門的知識と技能を備えた実践的指導力を発揮しうる教員を養成することを理念としている。

● 国際地域創造学部国際地域創造学科（中一種免（英語）・高一種免（英語））

本学科における中学校・高等学校英語の教員養成は、高度情報化、国際化した社会の要請にこたえるために、豊かな国際感覚と英語運用能力、自文化と異文化に対する理解を基盤とする高いコミュニケーション能力を有する人材育成を目指す。教員養成にあたっては、「英語学」「英米文学」「英語コミュニケーション」「異文化理解」の4つの科目区分から幅広い履修を行なうことで、上記の目標を達成する。「自由平等・寛容平和」という建学の精神を継承・発展させて「真理の探求」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追及」という大学の基本理念の下、沖縄という歴史ならびに地理的・文化的特性を生かしながら、且つ、教員として必要な資質能力を身につけさせるとともに、教育的愛情に溢れ、広い教養と教科に関する高度の専門的知識を備えた実践的指導力を即時的に発揮しうる教員を養成することを理念としている。

●　教育学部学校教育教員養成課程（幼一種免・小一種免） 特定教科の指導力を土台とした小学校教諭を小・中学校教科教育コースで，教科の枠を超えた学習指導力・総合的実践力をもつ小学校教諭を小学校教育コースで育成するという複線型教員養成を行い，かつ幼児期と小学校期を見通せる幼小連携能力の育成もオプションとして用意している。 全てのコース・専修において、小学校9教科に関する科目ならびに教科の指導法の科目を必修としている。あわせて特別支援教育に関する科目を必修化し、それとあわせて小学校外国語活動や総合的な学習の時間に関する科目などを選択必修としているなど現代的な教育課題に対しても幅広い素養を身につけている教員を養成できるようにしている。 教育実習以外にも学校教育現場での体験を取り入れた科目を開設（一部必修化）し、大学という高等教育課程を経た人間として「広く社会人として求められる教養」、「小学校教員という専門的職業人として求められる知識技能・人間性」を兼ね備えた、教員として現代社会から強く求められている資質能力（教科指導・生徒（生活）指導・学級学校管理運営に関わる能力やその根底にある子ども・保護者・同僚・地域の人々との対人関係能力、子ども観・教育観の確立）を涵養できるよう、教職課程において個々の科目の履修により修得した専門的な知識・技能を基に、教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を持って、学級や教科を担任しつつ、教科指導、生徒（生活）指導等の職務を著しい支障が生じることなく実践できる資質能力」を確実に身に付けさせる（学部段階で教員として必要な資質能力を確実に身に付けさせる）教育課程を編成する。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（国語）・高一種免（国語）） 日本語学・日本近現代文学・日本古典文学・漢文学・言語文化・国語科教育学（ことばの教育）といった諸分野における高い専門性をふまえつつ、「読む・書く・話す・聞く」楽しさを授業の場で子どもたちと分かち合える感性と力量を身につけることで、豊かなことばの学びを創造し、ことばを通して人々が共に生きる世界を拓いていくことのできる教員を育てる。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（社会）・高一種免（地理歴史）/（公民）） 教科専門分野の学習・研究を社会科教育の方法論や実践論で昇華させることによって，教科教育の成果が人類の平和に貢献できるという理念を理解し，教育の場で交接する生徒と教師との共同作業によって「宝探し」ともいうべき学習・研究活動を実践できる人材を育成する。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（数学）・高一種免（数学）） 数学に対する旺盛な興味と関心、柔軟かつ強力な思考力を有し、更に、深くかつ幅広い知識と、教授法についての効果的な方法論を身に付け、それら全てに裏打ちされた自信と情熱を持って、算数及び数学を子供達に伝えることの出来る人材の養成
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（理科）・高一種免（理科）） 理科各分野の専門的知識と科学的な探究能力を計画的に身につけさせ、それを土台とした授業実践力を培うことによって、教科指導力および教材研究力に強い教員を養成する。本専修が理学部の理科系の学科と異なるのは、特定の科目・領域だけについて学習や探求をしていくのではなく、物理・化学・生物・地学の4つの領域と理科教育法についてバランス良く学べる点にある。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（音楽）・高一種免（音楽）） 実技系の授業と理論系（音楽理論・音楽史など）の授業を年次進行のなかでバランスよく履修しつつ、教育方法の授業を2年次から順次履修していくことによって教員としての資質を育成する。さらに課外活動などで音楽科教師としての技能や感性を高める為の活動機会も用意されている。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（美術）・高一種免（美術）・高一種免（工芸）） 絵画、彫刻、デザイン、陶芸、織染、美術理論・美術史、図工科・美術科教育の各分野の基礎から応用まで充実した授業を整備し、学生が柔軟に選択して履修できる体制を整えている。また正規授業以外にも、現在活躍中のアーティストとの交流、ワークショップやアートイベントへの参加など、自主的・創造的な体験交流の機会も提供している。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（保健体育）・高一種免（保健体育）） 児童生徒の発達・成長状態を理解し、スポーツ科学および運動文化への深い認識をもつような、理論と実践能力とを兼備した教員の養成をめざしており，また学校における運動部や体育的行事のマネジメント能力も身に付けさせる。

●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（技術）・高一種免（工業）） 人類の創造した技術の世界を，ものづくり，コンピュータの活用，エネルギー利用の面などから理解し，それらの知見を意欲的に教材および教授法の研究開発へと接続できる能力を育成し，子どもたちの技術に関する興味・関心に情熱をもって応えられる実践的能力に優れた教員を養成する。そのために，ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して，材料と加工，エネルギー変換，生物育成，情報及び産業に関する知識や技術を習得し，技術と社会や環境との関わりについて理解を深め，技術を適切に評価し活用する能力と態度をもつ教員を養成する。また，社会の変化と発展に主体的に対応し，課題を解決してよりよい生活や工業技術を創出できる能力をもつ教員を養成する。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（家庭）・高一種免（家庭）） 衣・食・住生活、生活経営、保育等に関する専門的知識を修得して生活を科学的に見つめ、生活を取り巻く現代的諸問題や沖縄の地域的課題を具体的に検証するなかで、教育関連活動の実践者として責任と能力のある教員の養成を目指している。
●　教育学部学校教育教員養成課程（中一種免（英語）・高一種免（英語）） 国際的視点と高度な英語力を獲得し、英語学や英米文学を学ぶことで英語教員としての教養を身につけ、最新の英語教育理を通じて実践力を習得するなかで、たくましくて人間味あふれた実践力のある英語教員の養成をめざしている。
●　教育学部学校教育教員養成課程（特支一種免） 特別支援教育に関する基礎的・基本的知識と、臨床的・実践的な力量とをバランスよく身につけさせることによって、知的障害者、病弱者及び肢体不自由者の教育を担う教員を養成する。正規授業以外でも、学生中心の療育活動、小・中学校での実践ボランティアなどの実践力増強の機会を提供している。
●　理学部数理科学科（中一種免（数学）・高一種免（数学）） 本学科では科学の言葉である数学の基本的な考え方，数理的・論理的思考能力を身につけさせ，それを用いて，自然や社会に広く存在する多様な問題の本質を，数理的に的確に理解し解析するとともに，それらの問題に対する自分の理解を筋道立てて伝える方法を習得することを教育の目的としている。このような素養を身につけた人材を中学高校の数学教員として輩出し，初等，中等教育を通して県民・国民の数的能力の向上を図ることは，沖縄県および日本の産業の水準を維持・向上していくために，本学科が担うべき重大な責務の１つである。
●　理学部物質地球科学科（中一種免（理科）・高一種免（理科）） 理科各分野の専門的知識と科学的な探究能力を計画的に身につけさせ、それを土台とした授業実践力を培うことによって、教科指導力および教材研究力に強い教員を養成する。物理系のカリキュラムは、自然科学の基礎である物理学を体系的に学び修めることができるようになっており、その過程で物理学一分野に限らず普遍的に通用する科学的思考能力を身につけることができる。科学的思考能力を身につけた上で、化学・生物・地学についても学識と知見を高め、将来理科教員として自然科学の面白さを伝えることができる教育をすることができるよう育成する体制となっている。
●　理学部海洋自然科学科（中一種免（理科）・高一種免（理科）） 理科各分野の専門的知識と科学的な探究能力を計画的に身につけさせ、それを土台とした授業実践力を培うことによって、教科指導力および教材研究力に強い教員を養成する。化学系のカリキュラムは、自然科学の基礎である化学を体系的に学び修めることができるようになっており、その過程で化学一分野に限らず普遍的に通用する科学的思考能力を身につけることができる。科学的思考能力を身につけた上で、物理・地学・生物についても学識と知見を高め、将来理科教員として自然科学の面白さを伝えることができる教育をすることができるよう育成する体制となっている。生物系では、地域・国際社会で生物学が果たすべき役割を視野に入れながら、琉球列島の豊かな自然環境が持つ特色を最大限に生かし、多様な生命現象とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究をおこなっている。こうした教育理念のもと、生物学的素養を基礎に社会の一員として積極的に個性を発揮できる人材を育成し、中学・高校の理科教員として輩出することは、「自然との共生」が人類共通の課題としてクローズアップされ生物学に対する社会の関心と期待が急速に高まりつつある現代において、我々がになうべき重大な責務の一つである。

● 医学部保健学科（養教一種免）

経済格差からくる健康状態の悪化や親からの虐待・子ども同士のいじめによる不登校、学級不適応等、子どもたちの心身の健康が蝕まれている現状がある。これらの厳しい現況を真摯に受け止め、養護教諭養成にあたっては、総合大学の中にある医学部保健学科での養成という利点を生かし、健康管理能力すなわち個別及び集団の健康ニーズを的確に捉えるためのアセスメント力、それに対処するための看護実践力ならびに保健室経営に必要なマネジメント力、他職種との連携をはかるうえで必要なコーディネート力を培う。さらに教育学部と連携し、教員として必要な資質能力を身につけさせるとともに、教育的愛情に溢れ、広い教養と健康支援に関する高度の専門的知識を備えた実践的指導力を発揮できる教員を養成する。

● 工学部工学科（高一種免（工業））

1．教員養成に対する理念・構想

成熟社会で求められる人材は、社会ニーズの変化に柔軟かつ機敏に対応し新たなビジネスモデルを構築できる技術者や多様なニーズに対応し実社会で活躍できる高度技術者であり、各分野にまたがった様々な問題を総合的に解決できる能力やイノベーションを創出する発想力・企画力、リーダーシップ能力及びコミュニケーション能力を修得しておくことが重要である。本学科は、1学科7コース制を採用しているため、上記した能力と共に工学に関係する様々な知識を幅広く修得し、あらゆる現場においても能力を常に発揮できる優れた工業科教員を育成する。

2．教職課程の設置趣旨

工業科の基礎である工業数学、化学、物理ならびにグローバル人材育成に役立つ外国語を履修する。各コースの専門科目として提供する実験を履修し、実験科目の指導能力を養成する。さらに、技術者倫理を履修し、近年社会問題となっている偽装問題等に対する高い倫理性と見識を兼ね備えた工業科人材を養成する。

〇機械工学コース

自動車、航空機、ロボットなどの機械やその設計・製造・メカニズムに関心があり、機械工学を学ぶ意欲があることを本コースへの受け入れ方針として掲げ、自らの知識、能力で設計・ものづくりができる基礎、これを高めていく自己学習能力を身につけた機械技術者を養成する。

〇エネルギー環境工学コース

広く国際社会を俯瞰したエネルギー・環境問題の現状を捉えつつ、沖縄地域との関わりを意識した持続可能な社会と人との諸問題について、関連する基礎科目を自主的かつ継続的に学習することで、それら複合分野の統合マネジメント、課題の解決に寄与できる技術者を養成する。

〇電気システム工学コース

電力・エネルギー利用技術とシステム制御技術を基盤とし、これらの技術を応用することにより、現代社会の基盤を形成する電気システムインフラを維持・管理していくことができる人材を養成する。

〇電子情報通信コース

エレクトロニクス技術と情報通信技術を基盤とし、情報通信機器の小型化・ウェアラブル化ならびに省電力化等を実現する集積回路技術や新機能デバイス、高速通信技術や高度センシング技術の開発に取り組める人材を育成する。

〇社会基盤デザインコース

亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性と自然環境・琉球歴史と文化の魅力と特色を生かした観光・情報社会を支える社会基盤のデザインに関して、社会ニーズと自然環境に調和した社会基盤の創成と台風や気候変動現象などのグローバルな環境・防災の諸問題解決に貢献できる専門技術者を養成する。

〇建築学コース

自然と調和しながら人間生活の安全性・快適性・利便性を追求し、多様化する社会のニーズに対応できる豊かな創造性と幅広い知識を持つ建築技術者を育成すると共に、亜熱帯地域に属する沖縄の特色ある自然環境や地域資源、文化伝統を含めた包括的で高度な専門知識を有する人材を養成する。

● 工学部工学科（高一種免（情報））

1．教員養成に対する理念・構想

情報科は、新しい学問領域であると同時に他の教科や現代社会との関わりが非常に大きいことが特徴である。発展しつづけている情報技術を遅滞することなく掌握・理解し、授業内容に反映させる能力を養成する。単に先端技術の普及ではなく、社会的視点による判断・説明能力も重要である。情報に関する広範な知識を持ち、新技術に適応し、柔軟な社会性を備えた情報科教員を育成する。

2．教職課程の設置趣旨

コンピュータ技術や情報工学基礎分野を履修するとともに、教職の意義を理解する。実験を通して情報技術の実践的理解を深める。学生個人の関心に応じた専門科目を履修し特定領域での深い修学を行うとともに、教科教育法を通して授業実践スキルを体得する。卒業研究等の創造的活動を通して、生徒指導力を培う。4年間を通じた外国語履修体制により、グローバル意識の高い教員養成を目指す。

〇知能情報コース

知能情報コースは、コンピュータサイエンスをベースに人工知能を融合することで、21 世紀の新しい情報技術を創出できる人材を養成する。幅広い教養と技術者倫理および知能情報分野の専門知識・実践力を備えるとともに、変動する複雑な社会で柔軟かつ自律的に対応できる技術者を養成する。

● 農学部亜熱帯地域農学科（高一種免（農業））

本学科では、農業経営経済学、食農資源経済学、植物開発学、循環畜産学、動植物人間関係学などの学科共通科目の履修によって国際的な視点で地域農林畜産業の振興に携わる指導力のある人材育成並びに地域資源循環システムに基づく持続的農業生産並びに農と社会との共生を構築できる実践的人材育成を目標とし、4つの教育コース（①農林経済学コース、②植物開発学コース、③循環畜産学コース、④農林共生学コース）を提供し、専門教育の深化を図っている。高等学校教員（農業科）として育成する人材は、農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的意義や役割を理解させるとともに農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会との発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育むことによって、これらの識見を継承者である生徒に教育・伝承するための能力を資することが求められており、農業の各分野の学習を通して農業に関する諸課題について関心を持ち、その解決を目指して思考を深め、創意工夫する力を育成するとともに、創造性・科学性を育成するという趣旨を設定し、人材育成を行う。高等学校の農業専門教育は、地域の農業振興と密接に結びついている。農業に関する広範な知識に加え、沖縄という地域特性についての知見も兼ね備えた人材養成は、本学部本学科に要請された責務である。

● 農学部亜熱帯農林環境科学科（高一種免（農業））

本学科では、作物生理学、動物機能学、森林環境学、生態学、環境学、保全生物学、流域・森林保全学などの学科共通科目の履修によって、生物や資源の機能特性の解明を通じ生物や環境関連分野で活躍する有能な人材、並びに生物多様性の理論を通じて豊かな環境の確保と保全に貢献できる実践的人材育成のため、4つの教育コース（①植物機能学コース、②動物機能学コース、③森林環境学コース、④生態環境科学コース）を提供し、専門教育の深化を図っている。高等学校教員（農業科）として育成する人材は、農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的意義や役割を理解させる共に農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会との発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育むことによって、これらの識見を継承者である生徒に教育・伝承するための能力を資することが求められており、農業の各分野の学習を通して農業に関する諸課題について関心を持ち、その解決を目指して思考を深め、創意工夫する力を育成するとともに、創造性・科学性を育成するという趣旨を設定し、人材育成を行う。高等学校の農業専門教育は、地域の農業振興と密接に結びついている。農業に関する広範な知識に加え、沖縄という地域特性についての知見も兼ね備えた人材養成は、本学部本学科に要請された責務である。

●　地域農業工学科（高一種免（農業）） 　本学科では、水利環境学、農村農地環境概論、農村基盤施設学、農業生産システム論、ポストハーベストテクノロジー、環境情報学などの学科共通科目の履修によって、農村環境整備と緑・土・水資源の保全と改善に貢献できる人材、情報技術を応用し、食糧生産から流通・加工に係る農業生産やエネルギーシステムに関する社会的要求を総合的に問題解決できる人材育成を目標とし、2つの教育コース（①バイオシステム工学コース、②地域環境工学コース）を提供し、専門教育の深化を図っている。高等学校教員（農業科）として育成する人材は、農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的意義や役割を理解させる共に農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会との発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育むことによって、これらの識見を継承者である生徒に教育・伝承するための能力を資することが求められており、農業の各分野の学習を通して農業に関する諸課題について関心を持ち、その解決を目指して思考を深め、創意工夫する力を育成するとともに、創造性・科学性を育成するという趣旨を設定し、人材育成を行う。高等学校の農業専門教育は、地域の農業振興と密接に結びついている。農業に関する広範な知識に加え、沖縄という地域特性についての知見も兼ね備えた人材養成は、本学部本学科に要請された責務である。
●　亜熱帯生物資源科学科（高一種免（農業）） 　本学科では、生物化学、物理化学、有機化学、遺伝子工学、分子生物学、生命科学、生体高分子化学、食品科学、微生物機能学、食品分析学、食品生物工学などの学科共通科目の履修によって、亜熱帯生物資源の機能開発と高度利用に関する専門知識と 技術を有する有能な人材の育成、生物資源関連産業、発酵産業及び健康・食品産業の振興と発展に貢献できる人材育成を目標とし、2つの教育コース（①バイオシステム工学コース、②地域環境工学コース）を提供し、専門教育の深化を図っている。高等学校教員（農業科）として育成する人材は、農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的意義や役割を理解させる共に農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会との発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育むことによって、これらの識見を継承者である生徒に教育・伝承するための能力を資することが求められており、農業の各分野の学習を通して農業に関する諸課題について関心を持ち、その解決を目指して思考を深め、創意工夫する力を育成するとともに、創造性・科学性を育成するという趣旨を設定し、人材育成を行う。高等学校の農業専門教育は、地域の農業振興と密接に結びついている。農業に関する広範な知識に加え、沖縄という地域特性についての知見も兼ね備えた人材養成は、本学部本学科に要請された責務である。
●　亜熱帯生物資源科学科（栄教二種免） 　地域・国民的課題である食育の推進は、あらゆる世代の国民に必要なものであるが、子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものとされている。栄養教諭は幼児、児童及び生徒の栄養の指導及び管理をつかさどるものであり、学校における食育推進の要である。また、家庭や地域との連携を図る重要な役割を果たす。 本学科で栄養教諭を養成するにあたり、学科の基本理念を踏まえ、栄養指導力の知識や能力・技能育成を基盤とした栄養士の養成を通じて、次代を担う子どもたちが食に関する正しい理解と望ましい食習慣を身につけることができるよう、農及び食に関する専門性と教育を兼ね備えた人材を育成する。また豊かで健康的な生活・長寿社会構築に資し、沖縄の独自性を活かした食と農の融合に関するモデル創出に取り組み、アジア・太平洋地域に貢献できる人材育成を目的とする。

以上